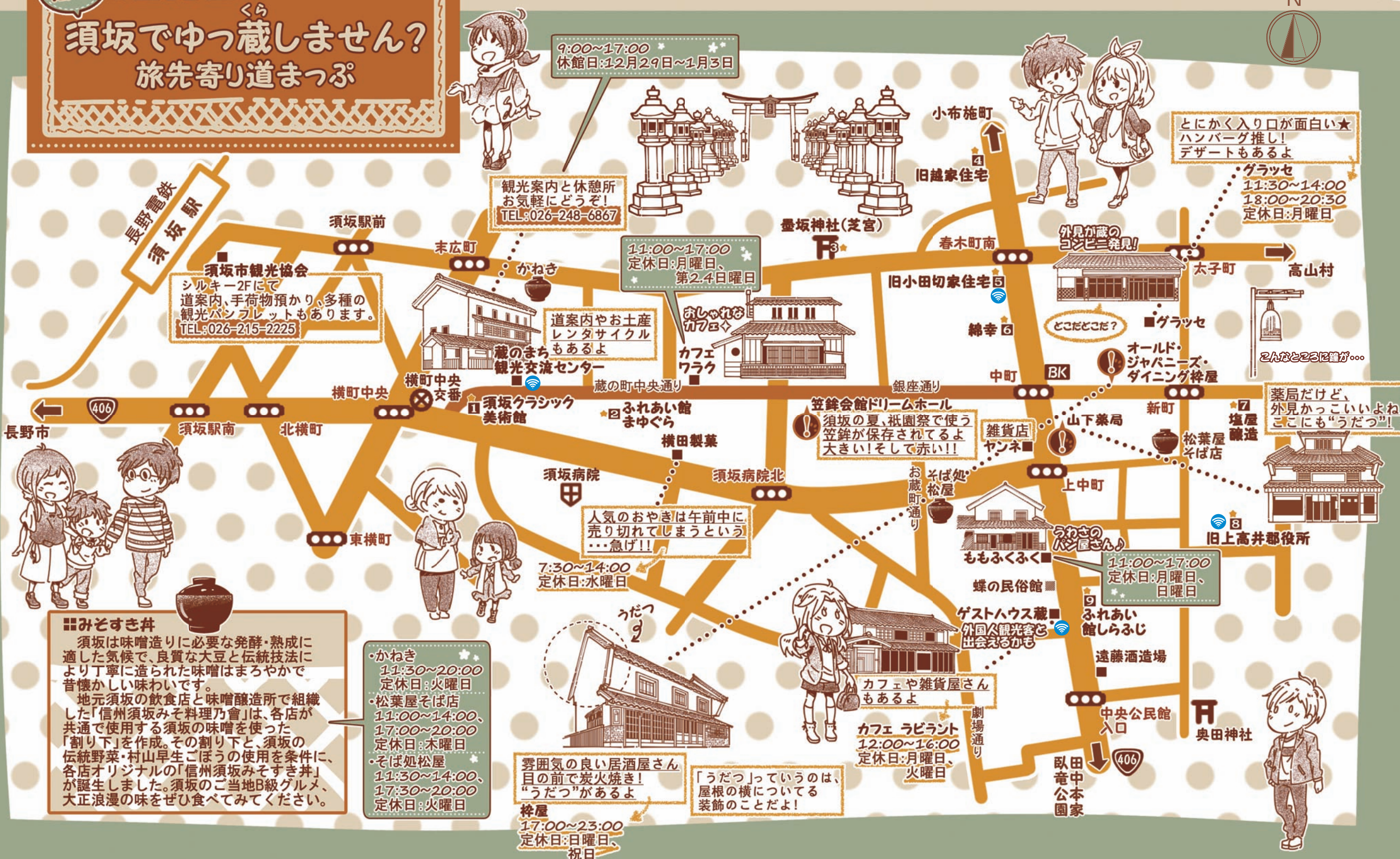


須坂でゆっ蔵しません? 旅先寄り道まっぷ



3月～12月 9:00～17:00

1月～2月 9:30～16:30

休館日:木曜日(祝日の場合は開館)
年末年始(12/29～1/3)

1 須坂クラシック美術館 (須坂市指定有形文化財)

岡信孝コレクションが展示されるこの建物は、元々牧家のお屋敷でした。牧家は江戸時代から須坂藩御用達の呉服商で、のちに銀行や製糸業などの事業を広げ大きな功績を残しました。豊富に使われたケヤキや硝子戸の細工など、屋敷内の至る所に当時の面影を見ることが出来ます。明治・大正・昭和の時代の中にあり続けた建物は、タイムスリップしたかのような錯覚を起こさせる不思議な空間です。

4月～10月 9:30～17:00

11月～翌年2月 10:00～16:00

3月 10:00～17:00

休館日:12月29日～1月3日

2 ふれあい館まゆぐら (登録有形文化財)

まゆぐらは明治後期に建てられた三階建ての繭の貯蔵庫です。須坂は明治期から昭和初期まで製糸業が盛んになりました。当時はアメリカでシルクの需要が増え、大量の製糸が輸出されていました。現在須坂にある蔵はその当時に建てられたものが多く、製糸業で栄えた時代を思い起こさせます。

まゆぐらでは須坂の製糸業の歴史や当時使われていた器械、製糸所で働いていた人々の様子を知ることが出来ます。また一階は休憩所となっていますので立ち寄ってみてください。



4 旧越家住宅 (登録有形文化財)

製糸王と呼ばれた越寿三郎ゆかりの建物です。寿三郎は山丸組を創業し、最盛期には8千人の従業員を擁する製糸業を営んでいました。

建物の中では、当時賑わいを誇った山丸組の人々の様子を多くの写真で見ることが出来ます。また、須坂でいち早く電話を架設し、その番号が1番であったことから「山丸壱番館」とも呼ばれています。

越家の建物は居間や座敷、洋間など当時の生活が感じられるような造りとなっています。越家を訪れた際は当時の人々の暮らしぶりにも目を向けてみてください。

4月～10月 9:30～17:00

11月～3月 10:00～16:00

休館日:年末年始

(12月29日～1月3日)



9:30～18:30

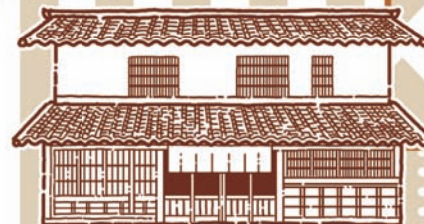
定休日:水曜日

6 綿幸 (登録有形文化財)

綿幸は二連の店蔵が連なり、上店の奥は座売りの間、その正面奥に江戸期の土蔵「染織館」があります。

下店の暖簾をくぐると蔵のギャラリー「綿幸サロン」があり、石畳の路地の奥は三階蔵造りの母屋に続く奥行き深い館町の商家の形態です。

入って右側に位置する下店の二階は蔵の美術館となっており、掛け軸、雛人形、絵など、この家に伝わる品が展示されています。今では珍しい昔の品々をご覧ください。



3 墨坂神社 (芝宮)

墨坂神社が建てられたのは、一説によると673年大和の部族が須坂に移り住んだときに大和国宇陀郡より遷宮したと言われています。十二対の灯籠が並ぶ参道を抜けた先に神社はあり、真っ先に目に入るのは太鼓橋と呼ばれる神様が渡るための橋で、普通には渡れないくらい反っています。

境内に足を入れると空気がかわり、蔵の町と違った一面を持つ須坂が見られます。そこに漂う柔らかな雰囲気は旅の疲れを癒してくれます。



5 旧小田切家住宅 (須坂市指定有形文化財)

小田切家は幕末まで須坂藩御用達を務めていた家で、現在の建物は有数の製糸家であった小田切辰之助が明治時代に再建したものです。

小田切辰之助は明治17年に俊明社を創立し、銀行の設置や水道の敷設など須坂の発展に大きく貢献しました。

宅内は広い玄関や茶の間、電話室といった当時の姿を残し、製糸業で栄えた小田切家の情景を感じさせます。また立派な蔵が印象的で、広々とした空間には静かな時間が流れています。落ち着いた雰囲気の中でお茶を飲みながら昔の須坂の情景に思いをはせてみませんか。

平成28年7月よりオープン



8 旧上高井郡役所

大正6年に建築された郡役所。現在は須坂市民の交流と歴史資料の展示を行う施設になっています。

県内で郡役所が残っているのはここだけです。白い壁と黒い屋根瓦が目につく須坂の町で、薄緑色の洋風な郡役所の建物はひと際目立ちます。2階には、当時の西洋建築の雰囲気をつたえる大ホールがそのまま残っています。手延べガラスの窓から眺めることができる景色もまた素敵です。蔵の道をちょっと外れて須坂の別の一面を見ていきませんか。

9:00～22:00

(資料の閲覧は平日9:00～17:00)

休館日:年末年始

(12月29日～1月3日)



【観光に関する問い合わせ】

●須坂市観光協会

TEL 026-215-2225

〒382-0077

須坂市大字須坂1295-1 シルキービル2階

●蔵のまち観光交流センター

TEL 026-248-6867

【文化財に関する問い合わせ】

●須坂市生涯学習スポーツ課

TEL 026-248-9027 (課直通)

9:00～18:00

定休日:不定休(8月、12月は無休)

7 塩屋醸造 (登録有形文化財)

海から遠い須坂では、塩を大切に作る風潮があり、昔は塩を長持ちさせるのが難しく、塩の代わりとして味噌造りが発展しました。塩屋では、文化・文政の創業以来、その味噌造りが大切に受け継がれています。

タイムスリップしたかのような昔の姿そのままに、味噌の香り漂う蔵。蔵で作られた味噌はすぐ横の店舗で販売しており、味噌だけでなくお土産として持ち帰りやすいお漬物も並んでいます。日常をちょっとだけ忘れてゆっくりしてみませんか。



9 ふれあい館しらふじ (登録有形文化財)

明治期に建てられた旧丸田医院の母屋と土蔵、そして西洋風診療室が残っています。

現在は、須坂市民の交流の場となっています。庭内には、施設の名前の由来にもなっている樹齢百年ほどの白藤があり、5月中旬に見頃を迎えます。この場所は映画『羊のうた』のロケ地にもなりました。外から見ると蔵の町並みに溶け込んでいますが、中に入ると洋風な建物が見えて、ちょっとした驚きがあります。田中本家や臥竜公園への途中にあるこの場所に立ち寄って、一休みしてみたいかがでしょうか。

4月～10月 9:00～17:00

11～3月 9:00～16:00

休館日:12月29日～1月3日

信州須坂 須坂まちウォーク

ご利用のスマートフォンでQRコードを読みこみ、アプリをインストールしてください。

無料

SUZAKA



Available on the App Store

GET IT ON Google play



アップストアまたはGoogleプレイで

須坂

検索